



平成24年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月12日

上場会社名 株式会社 東天紅 上場取引所 東  
 コード番号 8181 URL <http://www.totenko.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小泉 和久  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)山崎 信行 (TEL)03(3828)6272  
 四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第3四半期の業績(平成23年3月1日～平成23年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第3四半期	4,569	△8.3	△268	—	△288	—	△371	—
23年2月期第3四半期	4,984	△1.8	△86	—	△109	—	△74	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第3四半期	△14.46	—
23年2月期第3四半期	△2.90	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第3四半期	12,759	9,046	70.9	352.11
23年2月期	12,890	9,500	73.7	369.75

(参考) 自己資本 24年2月期第3四半期 9,046百万円 23年2月期 9,500百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年2月期	—	0.00	—	—	—
24年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年2月期の業績予想(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600	△5.6	△100	—	△120	—	△200	—	△7.78

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期3Q	25,728,716株	23年2月期	25,728,716株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年2月期3Q	35,958株	23年2月期	35,283株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年2月期3Q	25,693,206株	23年2月期3Q	25,694,388株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
【第3四半期累計期間】 .....	6
【第3四半期会計期間】 .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災とそれに続く原子力発電所事故により、それまでの経済環境が一変し、企業の生産活動の低迷や消費マインドの低下に加え、歴史的な円高、米国や欧州の不安定な財政債務問題を背景とした海外経済の減速の影響を受け、先行き不透明感が強い状況で推移いたしました。

こうした状況のもとで、当社は、創業50周年を迎えるにあたり、お得感のある期間限定の宴会メニューを季節ごとに設定し、また、店舗毎にお客様のニーズに合わせた特別メニューを設定するなど宴会売上の確保に努めてまいりました。さらに、引き続き、県人会、同窓会、趣味の会など景気に左右されにくい個人宴会の獲得にも力を注いでまいりました。

次に、「LUCIS(ルーキス)」「Coeur et Coeur(クーレクール)」「LA VIE CLAIR(ラヴィクレール)」などの婚礼や婚礼二次会の集客増を目指し、販促を強化いたしました。

自社ホームページを活用して、当社特製万頭や焼売のインターネット通販を始め、お客様にご好評をいただいております。

そして、平成23年4月、東京都港区高輪所在の“シナガワ グース”4階に「高輪店」を開店し、店舗網の拡充を図りました。

また、11月にはグランドメニューを全面改訂し、商品構成を見直すなどダイニング部門の活性化を図りました。

しかしながら、震災直後から宴会・婚礼のキャンセルが相次ぐと共に、企業活動の低迷や消費活動の自粛ムードの広がりにより、当社の業績は大きく影響されました。震災によるキャンセルや延期のお客様へのフォローを精力的に行うなど地道な努力により、夏以降、客足は戻りつつありますが、落ち込みをカバーするまでには至りませんでした。

なお、「ルーキスガーデン大丸心齋橋店」は平成23年4月に閉鎖いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は、前年同四半期比8.3%減の45億6,980万円、営業損失は2億6,820万円(前年同四半期は営業損失8,624万円)、経常損失は2億8,817万円(前年同四半期は経常損失1億987万円)、四半期純損失は3億7,152万円(前年同四半期は四半期純損失7,462万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

(資産・負債及び純資産の状況)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前年度末に比べ1億3,055万円減少いたしました。

これは主に、現金及び預金が借入金の新規実施により増加したものの、四半期純損失の計上及び配当金の支払等により1,554万円減少、売掛金が売上の変動により6,559万円増加した結果、流動資産は前年度末に比べ5,811万円増加となり、固定資産は有形固定資産の償却及び差入保証金の返還等により1億8,866万円減少したことなどによります。

負債は、前年度末に比べ3億2,276万円増加いたしました。

これは主に、借入金の1億9,227万円の増加、資産除去債務を4,020万円計上したことなどによります。

純資産は、前年度末に比べ4億5,331万円減少いたしました。

これは主に、四半期純損失3億7,152万円の計上、配当金5,138万円の支払、その他有価証券評価差額金が3,032万円減少したことなどによります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当初予想に変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 1. 簡便な会計処理

##### ①固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用しているものについて事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法としております。

##### ②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等に著しい変化が認められないことから、前事業年度において使用した将来の業績予測等を利用する方法によっております。

#### 2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 1. 会計処理基準に関する事項の変更

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、税引前四半期純損失が40,200千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は40,200千円であります。

#### 2. 表示方法の変更

該当事項はありません。

### (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	643,156	658,699
売掛金	286,517	220,919
商品及び製品	6,708	9,616
原材料及び貯蔵品	74,956	58,027
その他	103,179	109,138
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	1,114,218	1,056,101
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,557,430	1,658,577
土地	7,897,327	7,897,327
その他(純額)	279,357	307,524
有形固定資産合計	※1 9,734,115	※1 9,863,429
無形固定資産		
投資その他の資産	30,271	41,597
差入保証金	1,706,949	1,717,399
投資有価証券	61,550	103,084
その他	113,241	109,283
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	1,881,141	1,929,168
固定資産合計	11,645,527	11,834,195
資産合計	12,759,746	12,890,296
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	200,930	154,421
短期借入金	1,217,750	1,162,300
リース債務	11,269	16,072
未払法人税等	20,584	38,415
賞与引当金	16,000	71,900
その他	488,040	357,344
流動負債合計	1,954,575	1,800,453
固定負債		
長期借入金	573,700	436,875
リース債務	38,076	46,529
繰延税金負債	209	11,421
再評価に係る繰延税金負債	400,622	400,622
退職給付引当金	477,776	464,422
資産除去債務	40,200	—
長期末払金	152,818	154,893
その他	75,000	75,000
固定負債合計	1,758,403	1,589,764
負債合計	3,712,978	3,390,217

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,572,092	2,572,092
資本剰余金	6,561,688	6,561,688
利益剰余金	740,770	1,163,679
自己株式	△8,429	△8,348
株主資本合計	9,866,121	10,289,111
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△13,611	16,710
土地再評価差額金	△805,742	△805,742
評価・換算差額等合計	△819,354	△789,032
純資産合計	9,046,767	9,500,079
負債純資産合計	12,759,746	12,890,296

## (2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
売上高	4,984,389	4,569,807
売上原価	2,382,239	2,240,392
売上総利益	2,602,150	2,329,414
販売費及び一般管理費	※1 2,688,397	※1 2,597,616
営業損失(△)	△86,246	△268,202
営業外収益		
受取利息	110	52
受取配当金	6,359	3,621
未回収商品券受入益	1,162	1,103
その他	5,093	5,476
営業外収益合計	12,725	10,253
営業外費用		
支払利息	33,422	27,984
その他	2,926	2,243
営業外費用合計	36,348	30,228
経常損失(△)	△109,870	△288,177
特別利益		
投資有価証券売却益	66,966	—
特別利益合計	66,966	—
特別損失		
固定資産除却損	805	1,583
減損損失	19,401	—
店舗閉鎖損失	775	176
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	40,200
災害による損失	—	29,765
特別損失合計	20,982	71,726
税引前四半期純損失(△)	△63,886	△359,904
法人税、住民税及び事業税	10,740	11,617
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	10,740	11,617
四半期純損失(△)	△74,627	△371,522



## 【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期会計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)
売上高	1,683,180	1,696,168
売上原価	819,586	825,362
売上総利益	863,593	870,805
販売費及び一般管理費	※1 874,089	※1 887,497
営業損失(△)	△10,496	△16,691
営業外収益		
受取利息	0	0
未回収商品券受入益	355	377
その他	1,112	2,258
営業外収益合計	1,468	2,636
営業外費用		
支払利息	10,221	9,834
その他	1,704	1,381
営業外費用合計	11,926	11,216
経常損失(△)	△20,954	△25,271
特別利益		
投資有価証券売却益	63,267	—
特別利益合計	63,267	—
特別損失		
固定資産除却損	674	631
減損損失	19,401	—
災害による損失	—	336
特別損失合計	20,076	967
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	22,236	△26,238
法人税、住民税及び事業税	4,000	4,400
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	4,000	4,400
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,236	△30,638

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△63,886	△359,904
減価償却費	238,526	191,184
賞与引当金の増減額(△は減少)	△61,888	△55,900
退職給付引当金の増減額(△は減少)	17,193	13,354
受取利息及び受取配当金	△6,469	△3,673
支払利息	33,422	27,984
固定資産除却損	172	188
減損損失	19,401	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△66,966	—
売上債権の増減額(△は増加)	△24,652	△65,597
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,831	△14,020
仕入債務の増減額(△は減少)	50,414	46,509
未払金の増減額(△は減少)	12,283	93,121
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	40,200
災害損失	—	2,348
その他	16,325	32,739
小計	160,045	△51,465
利息及び配当金の受取額	6,469	3,673
利息の支払額	△32,764	△29,497
法人税等の支払額	△20,614	△17,143
営業活動によるキャッシュ・フロー	113,135	△94,432
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△60,289	△45,624
投資有価証券の売却による収入	128,045	—
差入保証金の差入による支出	△25,764	△837
差入保証金の回収による収入	356,563	11,286
その他	△7,110	△10,010
投資活動によるキャッシュ・フロー	391,444	△45,184
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△20,424	△16,763
短期借入金の純増減額(△は減少)	△160,000	60,000
長期借入れによる収入	—	400,000
長期借入金の返済による支出	△351,000	△267,725
自己株式の取得による支出	△279	△80
配当金の支払額	△496	△51,356
財務活動によるキャッシュ・フロー	△532,200	124,074
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△27,619	△15,542
現金及び現金同等物の期首残高	580,765	658,699
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 553,145	※1 643,156

**(4) 継続企業の前提に関する注記**

該当事項はありません。

**(5) セグメント情報**

当社は、料理・飲食物の加工調理提供を主要業務とする飲食店のほか付随的に外販・不動産賃貸等を営んでおりますが、飲食店としての事業がほとんどを占めており実質的に単一セグメントのため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

**(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記**

該当事項はありません。